

登録コード	BSB91574	開講年度	2026				
授業題目	生命工学特別実験Ⅰ(22BS以降)					担当教員	諸白 家奈子
英文授業名	Advanced Experiments in BiotechnologyⅠ					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	研究室配属の修士1年生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	動物生殖学分野および生殖工学分野の専門知識を習得する。
(2)授業の概要	生殖細胞工学分野における新たな知見を得るため、生殖細胞工学技術を用いた実験を実施し、実験結果を多角的な視点から評価・検討する。						
(3)授業計画	1. 実験計画の立案し、教員とディスカッションを行う(0.5時間/週 x 40回) 2. 研究内容に適した実験を実施し、再現性が取れることを確認する(計80時間以上) 3. 実施した実験結果について研究室メンバーに適切に説明し、論理的な質疑応答および議論を行い、研究を進める(1時間 x 12回)						
(4)成績評価の方法	実験への取り組み状況(50%)、研究報告会での発表および他学生の発表への質疑(50%)で評価する。						
(5)成績評価の基準	1) 専門分野内外の論文を幅広く読み、研究テーマの発展に努め、2)議論等を積極的に行い、3)研究内容について)適切に説明することが求められる。1～3が十分に達成できかつ学会で発表できる内容に達している場合、卓越している(S)、十分に達成できていれば、かなり上にある(A)、概ね達成できていれば、やや上にある(B)、基本事項が達成できていれば、水準に達している(C)と評価する。 評価基準： S：90-100, A：80-89, B：70-79, C：60-69, D：59以下						
(6)事前事後学習の内容	自身の研究で行う実験に関連した複数の英語文献を実験開始前に熟読すること。実験後に教員と結果をディスカッションを行うとともに、得られた考察に関連する英語文献を検索・熟読する(最低30時間の自学学習)。						
(7)履修上の注意	実験に適した服装をすること。						
(8)質問,相談への対応	口頭もしくはメール(宛先: kmoro89@shisnu-u.ac.jp)で随時受け付ける。						
(9)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	スッキロ動物生殖生理学, Keith K. Schillo著、講談社 Molecular Biology of The Cell 第6版, Newton Press社 専門誌; Biology of Reproduction, Oxford Academy Reproduction, Bioscientifica Ltd.						